



すくすく めえる

子育てほっとステーション あゆみ子どもセンター

熊本市北区武蔵ヶ丘1-4-32（あゆみ保育園内）

☎096-339-5673

相談専用☎096-339-5721

http : //www.kumamoto-ayumi.org E-mail : ayumi@wonder.ocn.ne.jp

いよいよ冬の寒さが身に染みる季節になってきたの～。

お家で過ごす時間も増えてくると思うんじゃが、暖かいお部屋の中で、親子で絵本の世界を楽しむのもいいもんじゃよ♡低月齢の頃は途中で他の物に興味がついてよそに行ったり、読み終えていないページを次々とめくることが楽しかったり、お母さんも「あ～あ」と思うことがよくあると思うんじゃが、それも経験しながら月齢が上がってくると、絵本の世界をその年齢なりに楽しめるようになってくるんじゃ！！絵本の豊かな絵や言葉に出会っていくことで、自分以外の人にも思いがあることがわかり、イメージする力や言葉で考える力などが育っていくんじゃよ。親子で図書館に行って絵本に触れるのもおすすめじゃ♡



『絵本の読み聞かせ』は、いいこといっぱい！！

絵本の読み聞かせが、子どもにとっていい影響があることはわかっているけど、実際にどのような効果があるのか？？疑問を持っている人も多いのではないのでしょうか・・・。

期待できる効果は？

- ①物語を理解する中で、想像力が育つ
- ②様々な単語を知り、言語力が高まる
- ③夢中になっているうちに、集中力が上がる
- ④感情が豊かになる
- ⑤子どもの好奇心を刺激できる
- ⑥コミュニケーションを楽しみ、心が豊かになる



絵本を選ぶときのポイント！！

◎まず大切なのは、月齢に合わせた絵本を選ぶことです。

年齢が低いうちから難しい絵本を読んでもしょうと、

「絵本の時間は退屈な時間」と感じてしまうこともあります。

0歳児→・絵が大きく、はっきりしている絵本

・声に出して遊べる、楽しい言葉や音の絵本

1歳児→・リズムの良い絵本

・知っている物を指したり、真似したりできる絵本

2歳児→・生活に関連していたり、

“気持ち”が表現されている絵本

3歳児→・起承転結がある物語絵本

・友達との関係作りを描いた絵本

4～5歳児→・登場人物のいろいろな気持ちが描かれている絵本

・言葉遊び絵本や図鑑を楽しむ

・豊かなストーリー性のある絵本

同じ絵本を何度も読みたがるのは、なぜ？

・語彙力や集中力を高めるため、たくさんの絵本を読み聞かせたいと思うのがおとな心。

しかし、なかには同じ絵本を何度も読みたがる子どもも少なくはありません。低年齢であれば、同じページばかりを求めることも多く、「読み聞かせ本来の効果が期待できないのでは？」と心配になりますよね・・・。

しかし、同じ絵本やページをくり返すことで満足感が得られます。好きな絵本、楽しい気持ちになる絵本を何度も読んでもらい、お決まりの展開を見守る。

繰り返しにより、子どもはお気に入りの絵本の世界を存分に楽しめます。大人からすると、退屈に感じてしまいがちですが、繰り返したい気持ちを大切にあげたいですね。

満足すれば、いずれ違う絵本に興味がついていきますよ！！

※年齢の他に、季節に合わせた絵本を選ぶことも大切です。

ときには、子ども自身が選んだ絵本を読み聞かせても良いでしょう。

自分で選んだものを読んでもらえることにより、自己肯定感が高まります。

☆クリスマスが近づいてくると、子どもだけでなく大人もワクワクドキドキしますね。そんな楽しいクリスマスシーズンに読みたい絵本を紹介しますね☆

